

平成28年 京都市立花背小中学校「学校いじめ防止基本方針」

1 目的

「いじめ」は子どもたちの心身の健全な成長に重大な影響を及ぼし、自殺や不登校を引き起こす深刻な人権問題である。そのような中で「いじめ」はどの学校、学級でも起こりうるものであると捉える。

学校の中では「見逃しのない観察」「手遅れの無い対応」「心の通った指導」を徹底し、「いじめ」を許さない学校づくりを推進する。

2 学校におけるいじめの防止等の対策のための組織

ア 構成員（職名又は校務分掌）

校長 教頭 副教頭 教務主任 生徒指導主任 生活指導主任 養護教諭 教育相談主任 スクール
カウンセラー （総合育成支援主任）

イ 役割・取組内容

- ・児童生徒や保護者、地域に対する情報発信と意識啓発、意見聴取
- ・個別面談や相談窓口の集約
- ・いじめやいじめが疑われる行為を発見した場合の集約窓口
- ・「学校いじめ防止基本方針」「いじめの防止等に関わる年間計画」の作成
- ・未然防止の取組の推進や学校基本方針に基づく取組の実施と進捗状況の確認
- ・教職員の共通理解と意識啓発
- ・発見されたいじめの事案への対応
- ・重大事案への対応
- ・年間の取組についての見直しを行う時期の決定
- ・「取組評価アンケート」、「いじめ防止対策委員会」、「いじめの対応に特化した研修」の時期の決定
- ・未然防止の取組の年間計画の決定
- ・個別面談や教育相談の時期や回数の決定

※ 会議の回数・実施時期については、後述の「年間計画」に記載

3 基本的施策

（１） 学校におけるいじめの防止

ア 授業改善の充実

- ・教育課程指導計画（京都市スタンダード）に基づく指導の徹底
- ・すべての児童生徒がわかる喜びと学ぶ楽しさ・達成する充実感を実感できる授業の実施
- ・学習するときの約束やルールを一人一人の子どもが確実に身に付け、意欲的に学ぶ集団づくりの取組の推進
- ・各学年で指導すべき基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、すべての児童生徒に学習基盤の定着を図る。
- ・本校の研究内容と関連して、言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成を重点においた学習

内容や学習形態の工夫

- ・授業参観，校内授業研究日，支部授業研修会，へき地教育研究会などを通じて児童生徒がわかる授業づくりに努める。
- ・小中一貫校の特性をいかし教科担任制へのスムーズな移行を実施する。
- ・自主学習，家庭学習課題の充実を図る。

イ 道徳教育の充実

- ・1年生から9年生まで各学年の成長に応じた内容と共にいじめを許さない一貫した道徳教育の実践。
- ・「いじめは絶対に許されない」ことや、「命の大切さ」「思いやりと友情」などを具体的に取り上げた人権学習，道徳の学習の実施。
- ・よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度を育てることをねらいとした活動の，意図的，計画的な実施。
- ・休日参観や地域の日など保護者や地域の方々の参加・協力を得るなど，家庭や地域社会との共通理解，連携を深める。
- ・警察のスクールサポーターによる非行防止教室の実施。

ウ 体験活動の充実

- ・長期宿泊学習，へき地合同行事の取組を通しての仲間づくり。
- ・学校行事，縦割り活動などを通しての人間関係づくり。
- ・花背学習，生活科等を通しての自他の生命を尊重する活動の推進。

エ 児童生徒が自主的に行う活動の充実

- ・縦割り活動，期ごとの取組，委員会活動などを進める中で，望ましい人間関係の育成と，協力して諸問題を解決する力の育成。
- ・花背集会など児生会主催行事の充実。
- ・いじめ防止に向けた標語，スローガン，ポスターの作成と掲示。

オ 児童生徒への働きかけ

- ・人権学習の中でのいじめに関する指導
- ・非行防止教室の実施と事後指導での全学年への発信。
- ・学級通信等での児童生徒，保護者への働きかけ。

カ 保護者への啓発

- ・「子どもを共に育む京都市民憲章」を保護者，地域に広く周知し，共に子育てを進める。
- ・機会をとらえ「学校いじめ防止基本方針」の趣旨を保護者，地域に広く周知する。
- ・非行防止教室等の保護者参観の機会を設定する。
- ・学校だより，学級通信等での啓発を促進する。

ク その他

- ・学校評価アンケートの結果の分析し、成果と課題を周知するとともに課題解消のための対策を講じる。

(2) いじめの早期発見のための措置

ア 児童生徒に対する定期的な調査

- ・日常の児童生徒観察や教育相談、学級日誌や教科担任等との情報交換を実施する。
- ・得た情報を常の打ち合わせで共有し、速やかに対応する。
- ・学校評価アンケート、いじめに特化したアンケートを利用しての「いじめ」の兆候の早期発見。
- ・クラスマネージメントシートを活用しての「いじめ」の実態把握と学級経営の見直し。
- ・スクールカウンセラー、スクールサポーター、学校支援員等との連携による情報交換。

イ 相談体制の整備

- ・定期的な家庭訪問の実施による相談機会の確保。
- ・定期的な「いじめ対策委員会」による情報共有と組織的な動きの構築。

ウ その他

- ・登下校、休み時間、掃除中などの校内巡視による児童生徒の見守り活動の実施。
- ・全教職員によるいじめを見逃さない体制づくりの構築。

(3) 教職員の資質向上

- ・日常的な児童生徒観察と情報交換を実施し、教職員相互の観察視点の補完。
- ・教職員研修による教師一人一人のいじめに対する意識の向上。

(4) インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進

- ・情報モラルの学級活動の強化。
- ・SNS（フェイスブック等）を通じて起こっている問題行動等の理解。
- ・SNSを使つての「いじめ」対応の事例研修。
- ・家庭教育講座、地生連等を活用しての地域への啓発。

4 いじめの防止等に関する措置

(1) 学校におけるいじめ防止等の対策のための組織

*職員打ち合わせでの情報交換

- ・毎日 期ごとに子どもの様子について情報交換する
- ・必要な場合は生活指導部を中心に総合育成支援委員会やいじめ対策委員会等と連携する。

*児童生徒連絡会 必要に応じて開催

メンバー 生活指導主任 生徒指導主任 児生会担当 養護教諭

内容 ・児童生徒の学校生活状況の情報交換と対応の検討。

- ・児童生徒の取組や活動状況の情報交換と指導内容の確認。
- ・保健室への来室状況の情報交換と対応の検討。

＊いじめ対策委員会 月一回程度実施（緊急に対応する場合は、この限りではない。）

メンバー 校長 教頭 副教頭 教務主任 生徒指導主任 生活指導主任 養護教諭 教育相談主任 スクールカウンセラー （総合育成支援主任）

- 内容
- ・情報交換と児童生徒の理解と指導にいかす。
 - ・問題行動を起こした児童生徒への支援、指導を検討し実践。

（２）いじめに対する措置

＊いじめの事実確認 ・速やかな対応，丁寧な聞き取り，正確な事実関係の記録

＊組織的な対応 ・いじめ対策委員会 期の会

＊児童生徒への対応 ・被害児童生徒又は保護者への支援，加害児童生徒への指導又は保護者への助言。

＊環境の整備 ・安心して教育を受けられるための必要な措置。
・休憩時間の見守り

＊関係機関との連携 ・児童相談所，警察との連携。

５ 重大事態への対処

＊教育委員会への報告 １

- ・いじめの有無，調査主体の等の協議。

※学校が調査主体となる場合

- ・学校の下に調査組織を設ける。
- ・調査組織で，質問紙等利用し事実関係を明確にするための調査を実施。
- ・いじめを受けた児童生徒及びその保護者に対して必要に応じた適切な情報提供。

＊教育委員会への報告 ２

- ・調査結果等，事実関係の報告。

＊同種の事態発生の防止に必要な取組の推進

※京都市教育委員会が調査主体となる場合

- ・京都市教育委員会の指示のもと，資料の提出など，調査への協力。

６ 年間計画（予定）

月	対策会議や行内研修	未然防止に向けた取組や行事等	アンケートの実施や教育相談等	保護者啓発等
４	いじめ対策委員会① 職員会議「学校いじめ防 止基本方針」の共通理解 学校運営協議会①	１年生を迎える会（児生 会）	ＳＣとの児童生徒全 員の面談開始	学校だより① 学校教育説明会 家庭訪問 参観日・保護者会
５	いじめ対策委員会②	全校集会（こいのぼり集	いじめに関するアン	学校だより②

	期の会	会) Ⅰ期校外学習 運動会の縦割り活動開始 (10日間)	ケートの実施① ＳＣとの児童生徒全 員の面談	
6	いじめ対策委員会③ 期の会	運動会 地域美化活動 児生会総会 Ⅱ期校外学習	教育相談① ＳＣとの児童生徒全 員の面談	運動会・地域の日① 学校だより③
7	いじめ対策委員会④ 年間の取組の見直し① 期の会 学校運営協議会②	5・6年長期宿泊 縦割り活動開始① 9年非行防止教室 9年薬物乱用防止教室 全校集会(たなばた集会)	学校評価① 個人懇談会① ＳＣとの児童生徒全 員の面談 ク라마ネ実施①	学校だより④ 学校評価
8	いじめ対策委員会⑤ 期の会 校内研修	文化祭に向けた縦割り活 動② へき地合同学習(7~9年)		学校だより⑤
9	いじめ対策委員会⑥ 期の会	文化祭に向けた縦割り活 動③~⑥ へき地合同校外学習 (7~9年) へき地合同体育大会・陸 上競技会	ＳＣとの児童生徒全 員の面談	学校だより⑥ 休日参観
10	いじめ対策委員会⑦ 期の会 学校運営協議会③	文化祭に向けた縦割り活 動⑦~⑩ 文化祭 Ⅲ期校外学習	いじめに関するアン ケートの実施② ＳＣとの児童生徒全 員の面談2回目開始	学校だより⑦ 地域の日②
11	いじめ対策委員会⑧ 期の会	マラソン大会	教育相談② ＳＣとの児童生徒全 員の面談	学校だより⑧ 入学説明会(1年)
12	いじめ対策委員会⑨ 期の会		学校評価② 個人懇談会	学校だより⑨

			S Cとの児童生徒全員の面談 クラマネ実施②	
1	いじめ対策委員会⑩ 期の会		S Cとの児童生徒全員の面談	学校だより⑩
2	いじめ対策委員会⑪ 期の会	スキー大会・雪上運動会	S Cとの児童生徒全員の面談	学校だより⑪ 進級説明会（7年）
3	いじめ対策委員会⑫ 期の会 学校運営協議会④			学校だより⑫ 地域の日③ 学級懇談会
<p>※毎日の職員打ち合わせで，期ごとの児童生徒の様子について情報交換を行う。</p> <p>※児童生徒連絡会は必要に応じて行う。</p> <p>※S Cとの児童生徒全員の面談は1日に数名ずつ行う。</p>				